

[機構について](#) > [情報提供活動](#) > [動画で見る企業事例「企業未来!チャレンジ21」](#) > [2003年放送分](#) > 7月26日放送分 キーワードは「連携」 超微細加工で取引先拡大

7月26日放送分 キーワードは「連携」 超微細加工で取引先拡大

7月26日 (TX・TVO・TSC)

27日 (TVA・TVH・OX・TVQ・RCC・TVO・OTV)

28日 (BSJ)

栃木県の(株)スズキプレシオン(資本金3,000万円、従業員40名)は、優れた金属切削加工技術を持ち、特にチタン加工においては顧客から高い評価を受けている。県内の企業だけではなく他都府県の企業とも連携し、それぞれの企業が得意な技術分野を持ち寄って共同受注を行うことで、多様な製品分野・エリアとの取引を可能にした。自社の優れた技術に加え、他企業と連携することで、より大きな市場を相手にする当社の経営を探る。

キーワードは「連携」

超微細加工で取引先拡大

[視聴覚教材No. TV15-17](#)

[動画配信中\(新規ウインドウ\)](#)



栃木県鹿沼市にやってきた志垣さん。手に持っている鉄板には60個の穴が開いているそうだが、穴は見えない。今日はこの穴の秘密を探る。

今日の訪問先は、髪の毛より細い0.03ミリの穴を開ける技術を持つ(株)スズキプレシオン。こちらが鈴木社長。





肉眼では見えなかった穴を顕微鏡で見
みる。黒い縦線が髪の毛、その左にある白
い丸が穴。穴の大きさは髪の毛の3分の1
程度。

ケースに入っているのが穴を開けるドリ
ル。先端部分の形状は右のドリルのよう
になっているというが、その先端は細く、や
はり肉眼では見えない。



「見えないような穴を開けてどうするのです
か？」と尋ねる志垣さん。「最先端医療の
バイオチップや半導体を製造する装置の
心臓部に使われています」と鈴木社長。

「鹿沼ものづくり技術研究会」は鹿沼を微
細加工の集積地にしようと地元の金属加
工業の中小企業が集まり発足。会員の技
術力アップ、レベル向上につながってい
る。鈴木社長は「小さい穴もこの会のおか
げという部分もある」という。



POINT: 地域の企業と共同で技術力向上
を図る。





7人の若い経営者で月に2回集まり、決算書などを公開し、弱みがわかれば改善してきた。鈴木社長の経営の師匠でもあるという高内社長は「競合していても、地域で一番になっているわけではないし、同じお客さんだとしても、一緒に勉強して皆が向上すれば良い。」と話す。

加工に関して超一流の違った技術を持つ4社が集まった「広域ネットワーク」。これまで親会社は加工ごとに別の会社に運ぶ必要があったが、4社が連合したことで、1つのものを最終工程まで上げることが可能になった。



POINT: 他企業と連携し、共同受注をすすめる。



スズキプレシオンでは、金属を削る刃物について定期的に研究会を開き、自社の技術を高めている。

「社員の幸せと会社の将来を守るために、世界一の技術を持った切削加工屋になりたい。」と鈴木社長は語った



[利用規約](#) [法的事項](#) [プライバシーポリシー](#)

Copyright©2007 Organization for Small & Medium Enterprises and Regional Innovation, JAPAN